

## 最新版 Safari での ITP2.1 対応に伴うセーブデータの不具合に関する最新情報

### 1. 概要

本文章は、Apple 製デバイスに搭載されているブラウザ「Safari」のアップデートに伴う、Cookie が7日以上保存できない問題に関する最新情報です。

### 2. 新しい解決策

v0.9.2 にて「キーフレーズ」機能を作成し、Cookie が削除された際は保存しておいたキーフレーズで復元するという対応をとっていましたが、これでは大変利便性が悪く、キーフレーズを忘れていたり、保存していなかったりした際に、データが消えてしまうという事が考えられます。

そこで、以前まで Cookie を利用していたものを全て LocalStorage に置き換えました。

LocalStorage とは、Cookie のように、JavaScript を用いてクライアントにデータ（値）を保存させるという機能です。

LocalStorage では Cookie にあった有効期限が撤廃されたり、保存できるデータ容量が5MB にまで増えたりなど、Cookie にはない利点があり、今回の ITP2.1 対応を機にすべての Cookie プログラムを LocalStorage に置き換えました。

また、キーフレーズ機能については、削除などはせずにこれまで通りご利用いただけるようにいたします。

キーフレーズ機能は、ほかのデバイスにデータを移す際に便利な機能となっておりますので、頭の片端へ置いておいてください。

本文章をもって「最新版 Safari での ITP2.1 対応に伴うセーブデータの不具合」に関する新規発表は終了いたします。

2021 年 9 月 2 日